

# 学研 おんがく通信

Web版も  
あるよ★

♪バックナンバーが  
閲覧できる!  
♪ウェブならではの  
情報が満載!

## Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/>

学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

2012  
年  
1  
月  
25  
日

こんにちは。早くも冬の折返し地点! 空気も乾燥していますね。女性のお肌に乾燥は大敵ですが…私はこの時期のピアノの音が軽やか  
かとても好きです。乾燥なんて、こ、怖くない!! (め)

## ひとりて譜読みが出来ますか?

音楽の基礎とも言うべき“読譜力”。店頭には読譜力を養うための、さまざまな教本やドリル、グッズなどが並び、先生方もレッスンの中で日々  
工夫されていることと思います。今回は、“譜読みをする”とはどういうことなのか、改めて考えてみたいと思います。

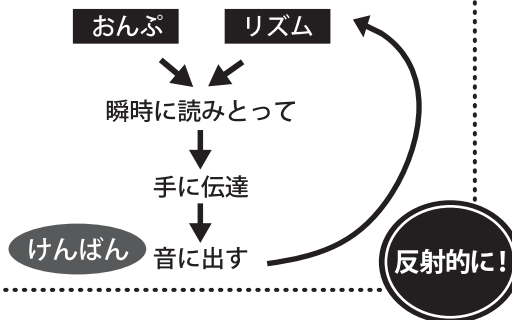
**楽譜って?** まず、楽譜の構造を見てみましょう(①)。  
「音の高さ(おんぷ)」と「音の長さ(リズム)」  
の2つの要素が絡み合っていることがわかります。実際は、そこに指  
番号、強弱記号や速度記号なども加わってきます。“譜読み”と一言  
で言っても、私たちはたくさん要素を同時に読みとっているのです。

**譜読みをやるって?** 次に、ピアノを弾くときのサイクルを  
見てみましょう(②)。  
「おんぷ」と「リズム」を同時に読みとり、それを手に伝達し、けんば  
んに触れて音にする…という作業を瞬時に繰り返す——。  
う〜ん、とても大変な作業をしているのですね。

### ①楽譜の構造



### ②ピアノを弾くときのサイクル



ある脳科学の専門家が「習い事はピアノだけで良い」と発言し話題になりましたが、  
確かにここまで頭を使う習い事は他にないかもしれません。

**読譜力を養うためには?** では、このような作業を子どもにわかりやすく指導するにはどのようにしたら良いのでしょうか?  
子どもは一度にいろいろなことを考えることが不得意です。まずは「おんぷ」「リズム」「けんばん」  
を分けて学習し、それぞれの基礎を確実に身につけていきましょう。“体得”できるまで繰り返し学習することが大切です。  
子どもが飽きることなく継続していけるように、ゲームを取り入れたり、歌を歌うなどして、常に楽しいレッスンを心がけましょう。

## バレンタインに聴きたいクラシック

### 編集部オススメの曲

- 愛の挨拶 (エルガー)
- 愛の夢 (リスト)
- 愛の喜び (クライスラー)
- バレンタイン・ワルツ (ガーシュウィン)
- 季節はずれのバレンタイン (ケージ)
- 歌の翼に (メンデルスゾーン)
- ジュ・トゥ・ヴー (あなたが欲しい) (サティ)
- 献呈 (シューマン)
- オペレッタ《メリー・ウィドウ》(レハール)
- オペラ《ばらの騎士》より  
「夢なのでしょう、本当ではありえない」(R.シュトラウス)
- オペラ《ラ・ボエーム》より「冷たい手を」(プッチーニ)

愛情た〜っぷりの音楽を、  
大好きな人と一緒に  
聴いてみませんか?

オペラについて知ろう!  
「オペラ・ハイライト25」  
(学研パブリッシング)



NML  
(ナクソス・ミュージック・ライブラリー)  
で聴いてみましょう!  
<http://ml.naxos.jp/>

## 今月の

## あかね先生

いよいよ新刊『ちいさなおんがくかい』が発売となりました! この教  
材の最大の特徴は、「音楽を楽しみながら、読譜力の基礎を身につける」  
こと。今月の「特集」にもあるように、読譜力の学習は大変な作業…。  
そんな中、色彩豊かなイラストや、多彩な音色やリズムと合わせる連  
弾曲は、きっと子どもたちのやる気を引き出す役割を果たすと思いま  
す。ページをめくるだけでも楽しい教材に仕上がりました!! (いも)

### \*今月のセミナースケジュール\*

2/2 (木): [奈良県/奈良] 島村楽器 奈良店  
『音符を読むコツ』

2/3 (金): [大阪府/大東] 大東楽器 住道店  
『子どもが飽きないリズムのレッスン』



# 2月12日は『ラプソディ・イン・ブルー』が初めて演奏された日

『アメリカ交響楽』という映画をご覧になったことがありますか？ 原題は『Rhapsody In Blue』。アメリカ音楽を作り上げた偉大な作曲家、ジョージ・ガーシュウインの生涯を描いた傑作です。圧巻は「ラプソディ・イン・ブルー」初演のシーン。

1924年2月12日。ニューヨークのエオリアン・ホールへの入り口に到着する客が次々に映し出されます。ハイフェッツ、ラフマニノフ、ストラヴィンスキーら、クラシック界のお墨付たちです。ジャズ王で、自ら楽団を率いるポール・ホワイトマン主催の「現代音楽の試み」と題されたこの日のコンサートが、いかに注目を集めたものかが伺い知れます。

さて場面はステージに。楽団のトレードマークでしょうか、指揮者ホワイトマンの似顔絵がドラムに描かれているのが微笑ましい（その前にはバンジョーが配置されています）。さあ、演奏が始まりまず（指揮者役は何と、ホワイトマン本人）。クラリネットのグリッサンドに始まる有名な旋律、ついで管楽器、ピアノへと主題が弾き継がれていきます。その後ジャズ風なリズムに乗って曲は進み、中間部のアンダンテ・モデラートへ。ホワイトマン楽団のテーマ音楽として一世を風靡した甘く切ないメロディが奏でられ、最後は速度を上げて華麗に終了。会場は万雷の拍手に包まれます。「ラプソディ・イン・ブルー」が歴史に名を留めた瞬間。とても感動的です。

1920年代はアメリカの「狂騒の時代」と言われています。ジャズやミュージカル、ダンスなどアメリカ的な文化が開花した時代。この映画にはそんなアメリカの姿もきっちりと描かれています。DVDで入手できますのでぜひ一度ご覧ください。お勧めです。(く)



Happy Birthday

- ♪ヤッシャ・ハイフェッツ (アメリカ/ヴァイオリニスト/1902.2.2生)
- ♪エーリヒ・ラインズドルフ (アメリカ/指揮者/1912.2.4生)
- ♪カール・チェルニー (オーストリア/ピアノ教師・ピアニスト・作曲家/1791.2.21生)
- ♪ジョアキーノ・ロッシーニ (イタリア/作曲家/1792.2.29生)

新着情報

「丸子あかね先生のピアノの教材はないの？」というたくさんの声にお応えして、楽しく学べるピアノ導入教材がついに登場です！ 収録の連弾曲は、今大注目の作曲家、轟 千尋先生による書き下ろし。多彩な音色とリズムに彩られた音楽に合わせることで、子どもたちは音楽の幅広さ、奥行きを深さを感じると同時に、演奏することの楽しさを味わうことができます。

- ちいさなおんがくかい1～音の名前とリズム～
- ちいさなおんがくかい2～大譜表とリズム～

各：定価1,260円(税込)

**Gakken**

UDAR

○うださんが作った新しい楽器

**ウダー** ～其の九～

ポリエチレン樹脂を使ったインターフェイスを試すためにテスト用の金型で成型したものは、それだけを見ると、まさに爪楊枝のケースでした。実際に土台になる筒にそれを取り付け、指で操作してみると、押した感じは悪くありません。ただ、ロープがわりのらせんの出っ張りが高すぎるため、押し方によっては凹んだままになってしまいます。また、音階を区切る12面の区分がわかりやすいようにと、らせんの間に入れた突起が思いのほか邪魔になってしまいます。図面を見ながらそうした部分の修正案を考えます。ポイントは12面の区分の仕方でしたが、これはインターフェイス部だけでは解決できそうになかったため、本体の形から再考することになりました。(つづく)

ま、まさに爪楊枝のケース!?

つむりの練習手帳

先月「さんきゅう」だったつむりの前の先生がもどってきました。でも、つむりは「かわりの先生のほうがいい」と言って、ちっとも練習しなくなっちゃったので、とうとう、来月から先生をかわることになりました。

けれど「もう前の先生とはレッスンしないから、おれいのお手紙を書くのよ」ってママに言われたら、やっとお別れに気がついたみたいで、ポロポロ大つぶのなみだを流していました。

(くいしんぼかつトホホなお兄)

つむり現在の楽譜

- ◎ ゆびのたいそう1
- ◎ バスティンピアノバイシックス1
- ◎ ピアノフレンド2
- ◎ 発表会の曲：ギロック「手品師」

レッスンQ&A

回答してくださったのは 伊能美智子先生

Q. 生徒が合唱の伴奏を引き受けることになりました。指導すべきポイントがありましたら、教えてください。

A. 結論から申しますと、「指揮者を見ながら、その指揮に合わせてピアノを弾くように」という言葉に尽きると思います。合唱曲の音楽づくりはすべて指揮者にかかっているのですから…。

蛇足かも知れませんが、歌を歌おうとするとき、人の息が実際に声として発音できるまでには少し時間がかかるものです。一人でささそうなのですから、大勢で声を合わせなければならない合唱の場合は、どうしてもテンポが乱れたり遅れがちになったり、リズムが不正確になったりしがちなものです。

一方ピアノは、鍵盤を押すのとほぼ同時に音が出ます。声に比べると正確なテンポを維持しやすい楽器といえるでしょう。ですからピアノで歌の伴奏をするとき、独唱か合唱か、で少し違ってくることも覚えておきましょう。独唱なら歌にピアノを合わせてあげるのが、合唱の場合は歌に合わせてたいへんです。あくまで指揮に従うことが大切…。思わず合唱につられて演奏してしまわないように注意してください。

合唱とピアノの微妙なテンポのズレを見込んで、指揮者は普通、ほんの少し早目に指示を出すようにしています。ピアノはその点もよくわきまえて、素晴らしい合唱づくりのために、演奏の最中はおくまで指揮を常に意識し、よく見て、指揮者につかり協力するように指導してあげましょう。

編集部のつぶやいたー!

みかけはおばさん、いつまでも心は娘でいたいものです。…ふ～ 実感!! (@や)

subuyaitter.....

twitter やってます! @gakken\_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!